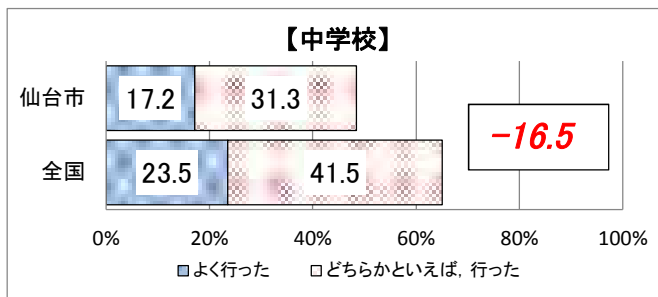
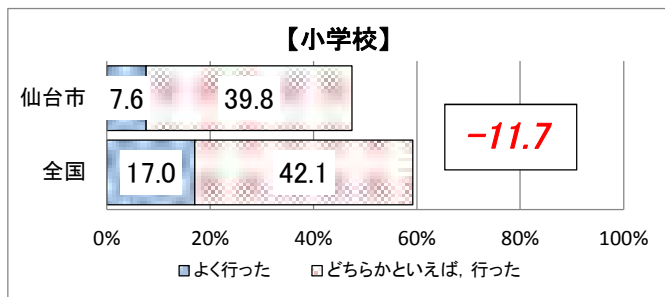


学校質問紙調査の分析結果

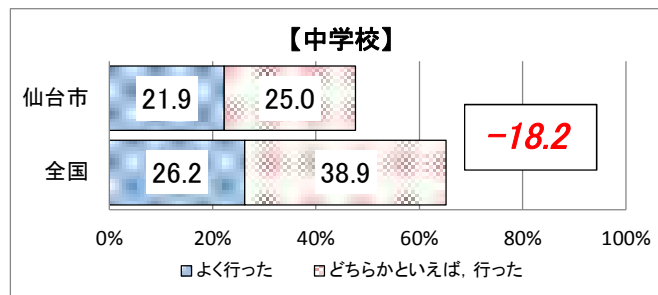
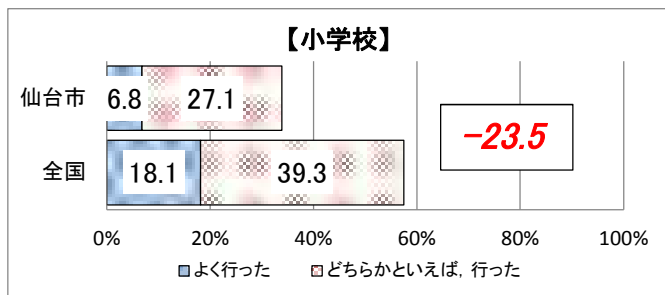
【小学校教育と中学校教育の連携】

教育課程や学習指導の分野での、小中連携についての質問への回答は全国平均を大きく下回る結果となりました。

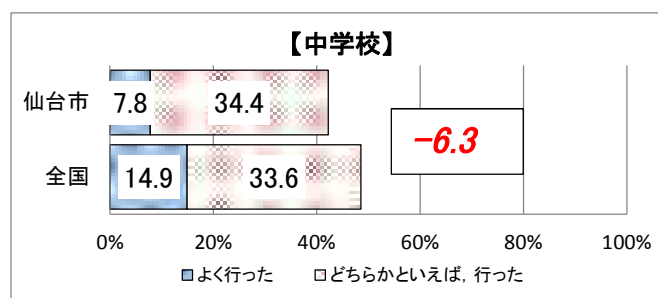
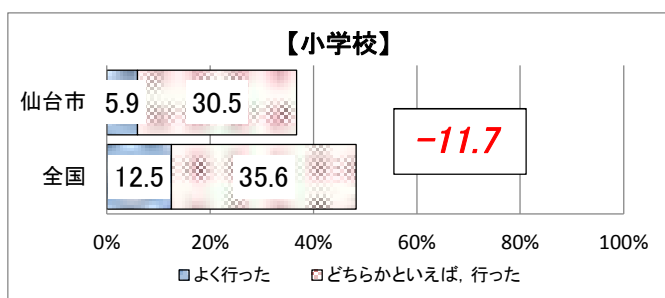
(1) 学校では、前年度までに、近隣等の中学校・小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った



(2) 学校では、前年度までに、近隣等の中学校・小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った



(3) 平成 31 年度(令和元年度)の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校・小学校と成果や課題を共有した



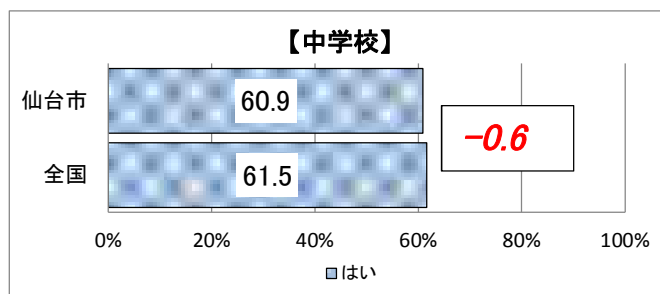
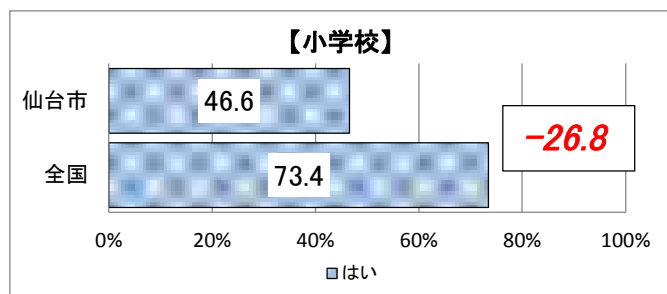
□今後に向けて

小中連携については、各校、様々な形で進められていると思います。学習指導の分野に関する連携については、全国平均を大きく下回りました。さらには、コロナ禍の影響もあると思われますが、令和元年度よりも大きく下回った項目もありました。授業研究会や、仙台市標準学力検査、全国学力・学習状況調査の分析結果をもとに情報交換を行うなど、教育課程や学習指導に関しても、積極的な連携を進めていただきたいと思います。

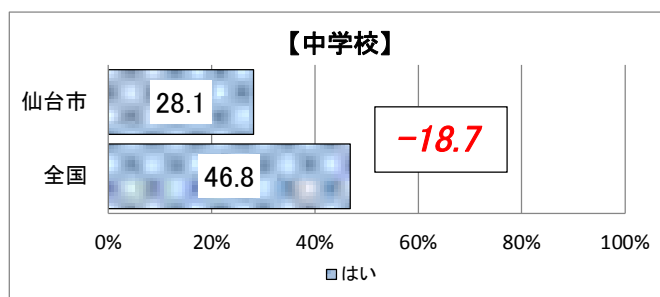
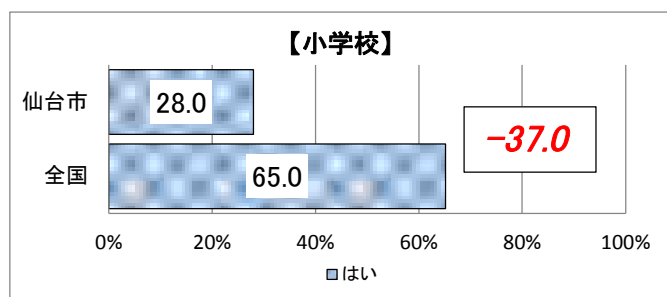
【全国学力・学習状況調査の活用】

全国学力・学習状況調査の活用については、各校様々な形で活用されていると思いますが、一方で、全国平均を大きく下回る活用方法がありました。

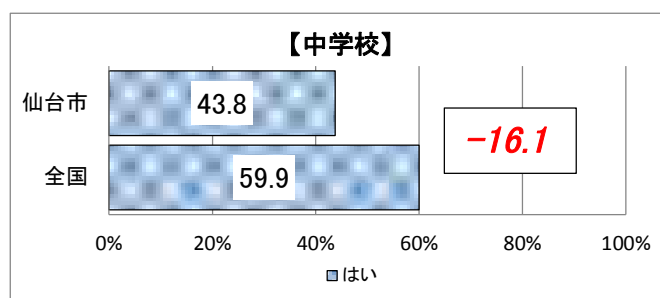
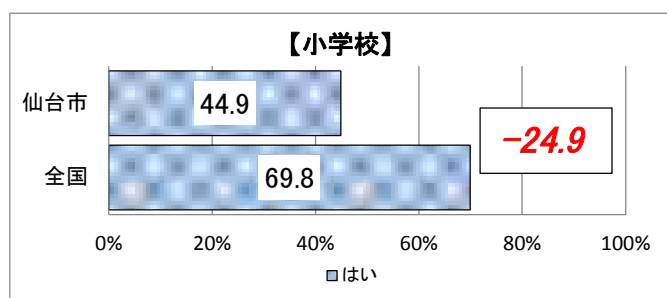
- (1) 全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）について、学習指導要領の理解を深めるため、調査対象学年・教科の教員以外の教員も出題意図を確認している



- (2) 全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）について、学習指導要領の理解を深めるため、校内研修等で、個別の問題を題材として取り上げている



- (3) 全国学力・学習状況調査の問題（教科に関する調査）について、問題全体を活用し、校内研修を通じて、授業の改善を行っている



□今後に向けて

調査問題は、学習指導要領の理念・目標・内容等に基づいており、その趣旨を踏まえた指導方法の改善に役立つよう配慮されています。質問項目を参考に、児童生徒の実態を客観的に捉え、様々な場面での活用を工夫していくことで、一層大きな効果が期待されます。積極的に活用していくよう配慮願います。